

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

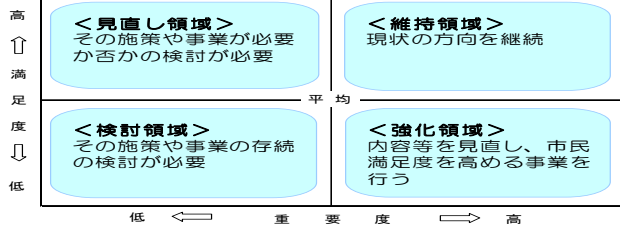
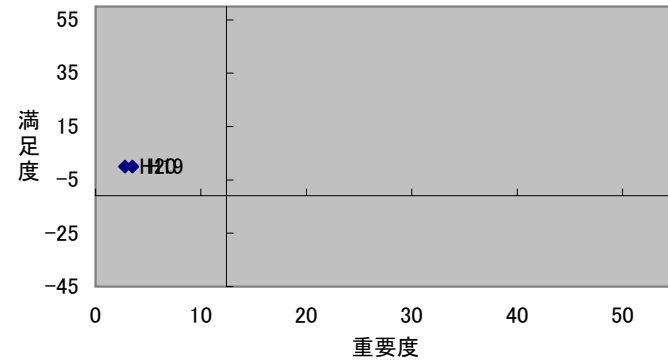
施策名 (小項目)	男女共同参画社会の形成	コード	作成者	役職	人権啓発課長
		05-02-02	氏名	森脇 博	
			電話	0869-64-1823	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	全市民、事業者、行政に対し、男女がより一層対等な社会の構成員としてのまちづくりに向け、男女共同参画に対する意識の高揚を図る	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	憲法において個人の尊重と法の下での平等がうたわれながら、社会的につくりあげられた性別の意識や性別による役割分担が広く存在することから、性別にかかわらず個性と能力が充分発揮される社会の形成が重要である。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 効果的に推進していくために情報収集と調査研究 理解を得るための広報啓発活動 男女間格差改善の必要に応じ積極的な改善措置 円滑かつ総合的に推進するための体制整備 積極的に取り組む市民、事業者に対し表彰を行い、取り組みを公表 関係機関と連携し、苦情及び相談に対応 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	3.5	2.8	
満足度(%)	-4.4	-1.5	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	男女共同参画の形成を目指し、法に基づき条例を制定し各種の施策を展開しているが、市民は男女共同参画が重要であるという認識に欠け、満足度においても非常に低く、その原因は、若い世代においてはあまり意識せず自ら取り組む姿勢が見られるが、高齢者、特に60歳以上の世代においては男女共同参画を認識してはいるが、社会的につくりあげられた習慣の改善に対し、かなりの抵抗が見られる。(市民アンケートから備前市の男女共同参画が伝わってこないという指摘もある)
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 きらめきフェスタ参加者数	人	790	790	790	790	790	1,000		より多くの市職員をはじめ市民、事業者が参加し必要性を周知(将来的にホール定員790名以上の参加を得たい)
2 各種審議会等委員への女性の登用率	目標	%	30	30	30	30	40	国の期待値30% 県は22年までに40%を目指す	女性の比率向上のため積極的な措置を講ずる
	実績	%	22.6	23.9	26.3				
	達成率	%	75.3	79.7	87.7				
3 交流サロン登録団体及び利用者数	目標	人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,800	3,000	登録すれば無料で利用できるサロンの活用を図る
	実績	人	2,225	2,299	1,890				
	達成率	%	96.7	100.0	82.2				
4 地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	目標	%	20	20	20	20	20	30	H20・6市民意識調査による
	実績	%	13.9	18.2	17.6				
	達成率	%	69.5	91.0	88.0				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初(直接事業費)		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 男女共同参画啓発事業	B	男女共同参画啓発事業	その他単市	345	2,276	0.23	565	2,235	0.23	443	2,494	0.26	☆☆☆	\$\$\$	271
		啓発標語募集事業	その他単市	369	650	0.08	403	638	0.06	3	486	0.05	☆☆	\$\$	5
		きらめきフェスタ事業	国県補助事業	816	1,300	0.13	877	1,277	0.13	838	1,445	0.15	☆☆☆	\$\$\$	748
		ウィズびぜん運営事業	施設維持管理	48	1,950	0.21	53	1,916	0.20	68	1,969	0.20	☆☆☆	\$\$\$	148
		日本女性会議参加負担金	その他単市	0	324	0.03	3	319	0.03	35	400	0.04	☆☆☆	\$\$\$	48
2 男女共同参画推進事業	B	男女共同参画基本計画策定事業	法定事務	0	1,952	0.20	1,971	2,115	0.21	0	208	0.02	☆☆	\$\$\$	0
		男女共同参画推進事業	その他単市	394	1,301	0.14	96	1,410	0.14	11	1,609	0.16	☆☆	\$\$	8
		市男女共同参画推進委員会	その他単市	45	651	0.07	32	705	0.07	48	983	0.10	☆☆☆	\$\$\$	57
		市男女共同参画推進審議会	その他単市	206	651	0.07	433	705	0.07	133	1,191	0.12	☆☆☆	\$\$\$	172
		市男女共同参画推進連絡会	内部管理	0	651	0.07	0	705	0.07	0	383	0.04	☆☆	\$	0
		県都市男女共同参画推進会議負担金	その他単市	10	651	0.07	10	705	0.07	0	100	0.01	☆☆	\$	0
		積極的改善措置	その他単市	0	651	0.07	0	705	0.07	0	300	0.03	☆☆☆	\$	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				2,233	13,008	1.37	4,443	13,435	1.35	1,579	11,568	1.18	1,457		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
人権啓発課	女性の再就職支援	結婚・育児等で仕事を中断し、再就職の意思がある女性の支援
人権啓発課	地域における男女平等学習	地域での男女平等研修の推進
人権啓発課	職場における男女共同参画の推進	雇用の分野での女性の能力発揮支援及び均等な雇用の確保

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
評価	判断理由		評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	市民アンケートでは、地域や職場で男女が対等に活躍できると感じている市民の割合が微減したが、将来の目標に向け、啓発等の見直しを行い、更なる推進が必要である。	3	達成率は増加傾向にあるが、目標値に到達していないため、目標に向け手法の見直しを行い更なる推進が必要である。
2 事業構成の適当性	3	5カ年計画の最終年度である平成23年度に向け、現在の事業を更に推進することが必要である。	3	男女共同参画を推進しており、事業構成は妥当である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	施策に対する達成率はほぼ上昇しており、国の政策である男女共同参画の推進は市民も望むところであり、一層の展開と推進が必要である。	4	男女共同参画に対する意識の高揚が図られており有効な施策である。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	ほとんどの事業が目標に向かっていくが、交流サロン(ウィズびぜん)の利用者の減少が見られる。今後は登録団体に更に呼びかけ利用の促進を図り、施策推進のため担当である人権啓発課においても利用者の獲得を目指す必要がある。			男女共同参画基本計画に沿って、市民・事業者などと協働して取り組んでいくこと。
二次評価者コメント	男女共同参画の基本は市民の意識改革であり、どういった啓発が必要かを効果的に考えて、啓発活動を継続して行くことが重要である。また、男女格差の改善には必要に応じた積極的な改善措置も必要である。			基本施策への貢献度 3中立